



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

—あいなん音故地新—

人に頼れる人

昔から人に頼ることが苦手で、『助けてほしい』と思いながらもなかなか『助けて』と言えん性格。頼ることが情けなくて恥ずかしいと思ってきた。迷惑をかけてしまうんじゃないかと思うと、お願いができませんでした。ほんと、変にプライドが高くて嫌になる。ひとりで何もかもできるような器ではないのにね。それに自分がこれからやろうとしとることはどう考えたって私ひとりの力じゃ無理やと腹を括り、数カ月前から意識して人に頼ったり、お願いしたりするということをしてきた。そしたらね、視界が開けるまでの速さが今までの倍、もしくはそれ以上に感じるわけですよ。もぉー、今までの私、何しとったんや！って思うくらい。なんでもっと早くに頼らんかったんや、と思うくらい。

頼れる人がおるということがこんなにも心丈夫で、自分でも気づかんかった奥の方から力が湧き上がってくるようなことなのかと驚いた。なので2026年の抱負は『人に頼れる人になる』に決定。そして、いつか誰かに頼ってもらえる人間に成長できますように。2026年が皆さんにとって実り多き一年でありますように。

(テノヒラkiku)



御荘文化センター図書室より

“1月の新着図書ピックアップ”の紹介

【絵本】

『おせちいっかのおしょうがつ』
わたなべ あや(作)
佼成出版社(発行)

今日は大晦日。お正月の準備に追われる箱田さんちの重箱の中では、おせち一家も大忙し。ふたごのかまぼこ、こうちゃん、はくちゃん、だてまきママに、くわいパパ。みんなで年越しそばを食べた後は初詣へLet's go! 「たべもの神社」の境内は、お雑煮一家やお寿司一家などで大賑わい。たくさんのおせちたちと一緒に、楽しいお正月を迎えましょう。



【小説】

『成瀬は都を駆け抜ける』
宮島 未奈(著)
新潮社(発行)

優秀ながらマイペース。予測不可能なことをする変わり者、成瀬あかりシリーズの第3弾で完結作。舞台は京都。滋賀県立膳所高校を卒業し、晴れて京大生となった成瀬の次なる目標は“京都を極める”。一世代の恋に破れた同級生、達磨研究会サークル、簿記YouTuberなど新たな仲間たちやおなじみの面々と共に、千年の都で躍動するハツラツ青春小説。



御荘文化センター図書室では、毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛南町
ホーム
ページ